SONY

4-576-541-**03**(1)

パーソナルオーディオシステム

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

©2015 Sony Corporation Printed in China

(1)

SRS-LSR100

箱の中身を確かめる

- お手元スピーカー
- 送信機
- ACアダプター
- マイクロUSBケーブル(長さ1.5m)
- 音声ケーブル(長さ1.5m)
- 光デジタルケーブル(長さ1.5m)
- 取扱説明書・保証書(本書)
- 取扱説明書「安全のために」

※音声ケーブルと光デジタルケーブルは、どちらか1本を使用します。

必ず用意する

本機を接続するテレビの取扱説明書
(またはテレビの電子ガイド)

本機でできること

テレビの音を聞く

本機は、テレビと接続した送信機からお手元スピーカーまで、ワイヤレスでテレビの音声を伝送します。
テレビ本体の音量を上げすぎず、快適な音量でお手元スピーカーからテレビの音を聞くことができます。

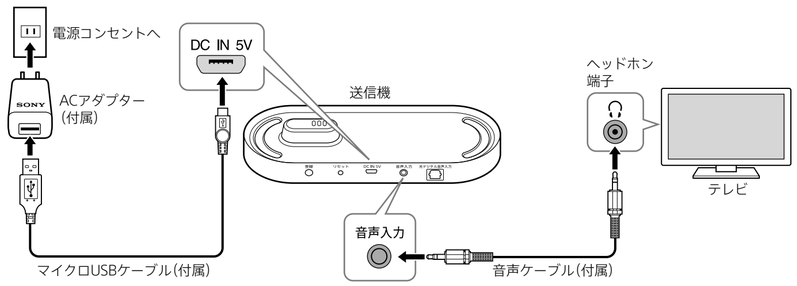
リモコンとして使う

お手元スピーカーのリモコンを、テレビやケーブルテレビのリモコンとして使えます。
リモコンはスピーカーの電源が「切」の状態でも使えます。

テレビの音を聞く

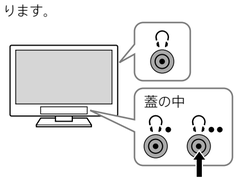
お手元スピーカーからテレビの音を聞くことができます。

1 送信機を設置する



ヒント

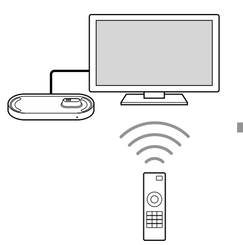
- 光デジタルケーブル(付属)は使用しません。
- ヘッドホン端子の位置はこんな場合もあります。



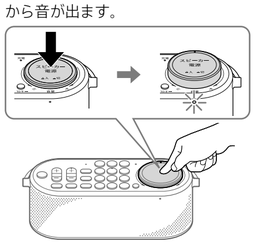
ヘッドホン端子の位置は、テレビの取扱説明書で確認してください。

2 お手元スピーカーでテレビの音を聞く

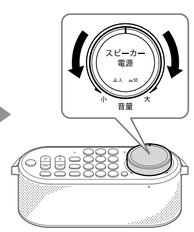
テレビの電源を入れる。



スピーカー電源ボタンを押す。
電源ランプが緑色に点灯し、スピーカーから音が出ます。



音量つまみを回して音量を調整する。



ご注意

- はじめて本機を使うときは充電してください。詳しくは右側の「充電するには」をご覧ください。
- お手元スピーカーから音が出ない、または音が小さいとき／割れるときは、裏面の以下をご覧ください。
  →「困ったときは」
  →「お手元スピーカーの音が小さいときは／割れるときは」

3 テレビからも音を出すようテレビの設定を変更する

ヘッドホン端子に接続すると、テレビからは音が出なくなります。テレビからも音を出すためには、テレビの設定を変更します。

テレビの取扱説明書でヘッドホンまたはイヤホンの項目を確認してください。
主な設定方法は以下の通りです。(名称は機種により異なることがあります。)

テレビのメーカー	設定方法
ソニー	「設定」-「音声・音質設定」に「ヘッドホン・音声外部出力設定」がある場合は、「ヘッドホン」に設定されていることを確認し、「ヘッドホン使用時設定」を「スピーカー・ヘッドホン併用」にする。
パナソニック	「スピーカーとイヤホン音声の同時出力」を「する」にする。
シャープ	「ヘッドホン」を「モード2」にする。
東芝	「ヘッドホーン用出力モード設定」を「親切モード」にする。
日立	「ヘッドホンモード」を「2」にする。
三菱	「スピーカー音声同時出力」を「入」にする。

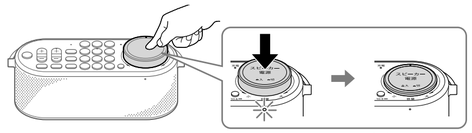
ご注意

ヘッドホン端子使用時にテレビから音が出せない機種もあります。その場合は光デジタルケーブル(付属)で接続し直してください。

ヒント

設定方法がわからないときは、お使いのテレビメーカーに「ヘッドホンとテレビのスピーカーの同時出力方法」をお問い合わせください。

4 お手元スピーカーの電源を切る



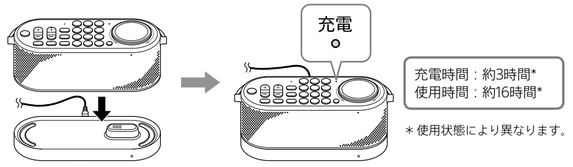
電源ランプが消灯します

ヒント

お手元スピーカーの電源を切り忘れても、テレビの電源を切ると、送信機はスタンバイモード(待機状態)になり、約10分経つとお手元スピーカーの電源も切れます。(自動電源オフ)
お手元スピーカーのリモコン操作ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

充電するには

お手元スピーカーを送信機の上に置きます。
充電中は充電ランプがオレンジ色に点灯します。充電ランプが消灯すると充電完了です。

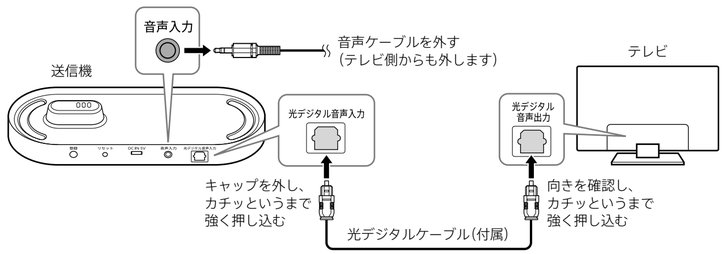


充電ランプについて

- ゆっくり点滅(オレンジ色)：
  電池残量が残り2時間未満です。充電してください。
- 1分間点滅(オレンジ色)してから消灯：
  電池残量がありません。充電してください。

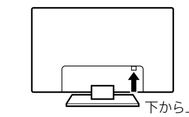
光デジタルケーブルで接続すると

音声ケーブルの代わりに光デジタルケーブル(付属)で接続すると、より高音質で楽しめます。



ヒント 光デジタル音声出力端子の位置

こんな場合もあります



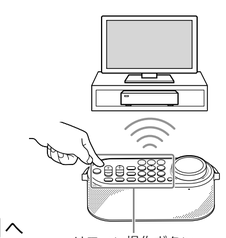
光デジタル音声出力端子の位置は、テレビの取扱説明書で確認してください。

リモコンとして使う

テレビやケーブルテレビボックスのリモコンとして使えます。

必要なリモコン設定を確認するには

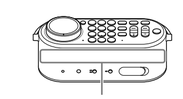
テレビ	現在お使いのリモコン	
ソニー製	テレビのリモコンのみ	設定は不要です
	ケーブルテレビのリモコンも使用	裏面 B へ
ソニー製以外	テレビのリモコンのみ	裏面 A へ
	ケーブルテレビのリモコンも使用	裏面 A から B へ



ご注意

- 機種によって一部の機能が使えないことがあります。
- テレビやケーブルテレビボックスの前に障害物を置かないでください。

ヒント



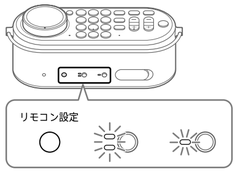
リモコン信号はお手元スピーカー背面のここから送信されます。

➡ 裏面へつづく

A テレビのリモコンを設定する

表面の「必要なリモコン設定を確認するには」にしたがって、こちらの設定を行ってください。

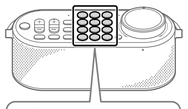
1 お手元スピーカーのリモコン設定ボタンを押す



ボタン横のランプが交互に点滅します。

2 お手元スピーカーの向きを変え、テレビ電源ボタンを押す

3 テレビメーカー番号の数字ボタンを押す



ソニー	1
シャープ	2
パナソニック	3
東芝	4または5
日立	6
三菱	7
パイオニア	8または9
LG	10

※「12」を押すとリモコン設定を無効にできます。

4 リモコンでテレビを操作できるか確認する

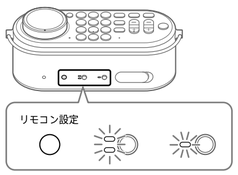
ご注意

- 動作しない場合は、手順1から設定をやり直してください。
- メーカー番号が2種類あったときは、他の番号で手順1から設定をやり直してください。
- ケーブルテレビボックスのリモコンを設定したあとテレビだけのリモコンに戻したい場合は、手順1から設定をやり直してください。

B ケーブルテレビボックスのリモコンを設定する

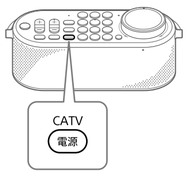
表面の「必要なリモコン設定を確認するには」にしたがって、こちらの設定を行ってください。

1 お手元スピーカーのリモコン設定ボタンを押す

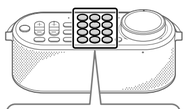


ボタン横のランプが交互に点滅します。

2 お手元スピーカーの向きを変え、CATV電源ボタンを押す



3 ケーブルテレビボックスのメーカー番号の数字ボタンを押す



パナソニック	1または2
パイオニア	3
HUMAX	4
Bn-mux	5または6

4 リモコンでケーブルテレビボックスを操作できるか確認する

ご注意

- 動作しない場合は、手順1から設定をやり直してください。
- メーカー番号が2種類あったときは、他の番号で手順1から設定をやり直してください。
- テレビ電源、入力切換、音量＋/－、消音ボタンはテレビ用として動作します。

困ったときは

症状	原因	対処
音が出ない（お手元スピーカーの電源ランプが点灯または点滅）	• 送信機の電源が入っていない。	→ 送信機とACアダプターにマイクロUSBケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
	• テレビと送信機が正しく接続されていない。	→ 音声ケーブルがヘッドホン端子に接続されているか確認してください。 → 光デジタルケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
	• 送信機との距離が遠い。	→ お手元スピーカーを送信機に近づけてみてください。
	• テレビが消音になっている。	→ 消音ボタンを押してください。
音が出ない（お手元スピーカーの電源ランプが消灯）	• 電池残量がない。	→ お手元スピーカーを充電してください。
	• 操作を受け付けなくなった。	→ お手元スピーカーのリセットボタンを先のとがったペンなどで押してください。
音が小さい／割れる	• テレビのヘッドホン音量が適切でない。	→「お手元スピーカーの音が小さいときは／割れるときは」(下記)をご覧ください。
音が途切れる	• 電波が干渉している。	→ 電子レンジ使用中に音が途切れる場合は、お手元スピーカーを電子レンジからできるだけ離して設置してください。また50 cm以内に無線LANのアクセスポイントを置かないでください。なお持ち運びの際は音が途切れることがあります。
リモコンが効かない	• リモコン設定ができていない。	→ リモコン設定をはじめからやり直してください。
	• テレビのリモコン受光部の前に障害物がある。	→ テレビとの間に障害物がないように置き直すか、障害物を取り除いてください。

お手元スピーカーの音が小さいときは／割れるときは

テレビの取扱説明書で、ヘッドホン音量の調整方法を確認してください。
主な調整方法は以下の通りです。(名称は機種により異なる場合があります。)

テレビのメーカー	調整方法
ソニー	テレビのリモコンの「オプション」(または「視聴中メニュー」)ボタンを押し、↓ボタンを押し続け「ヘッドホン音量」を選ぶ。画面にヘッドホンマーク(🎧)が表示されている間に音量を調整する。
パナソニック	設定から「ヘッドホン／イヤホン音量」を選び、音量を調整する。(またはテレビのリモコンの「右画面操作」ボタンを押してから音量を調整する。)
シャープ	テレビ本体の音量ボタンで音量を調整する。
東芝	設定から「親切ヘッドホーン音量」を選び、音量を調整する。
日立	設定から「ヘッドホンモード音量」を選び、音量を調整する。
三菱	設定から「ヘッドホン音量」を選び、音量を調整する。

ご注意

光デジタルケーブルで接続したときに正常に音が出ない場合は、お使いのテレビのデジタル音声出力設定をPCMに変更してください。詳しくはテレビの取扱説明書を確認してください。

ヒント

- お手元スピーカーと送信機のペアリング(紐づけ)をやり直すときは：
  お手元スピーカーのチャンネルーボタンと10キーボタンを同時に2秒以上押します。電源ランプが点滅したら、送信機の登録ボタンを押してください。
- 音声出力端子(固定出力レベル)とつなぐ場合は音が割れることがあります。送信機の登録ボタンを5秒以上長押しすると、入力レベルを下げることができます。元に戻すには、もう一度登録ボタンを5秒以上押してください。
- 他の無線機器(テレビ、サウンドバーなど)への影響がある場合は、送信機の位置を動かしてください。
  (例えば左に置いて影響がある場合は、右や中央に置いてみる、など)

ご注意

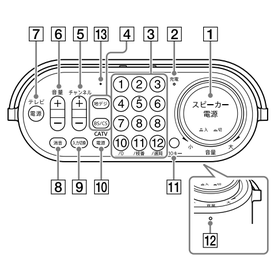
ヘッドホン音量を独立して調整できない機種があります。その場合は、光デジタルケーブルで接続し直すか、テレビの音量を調整してください。

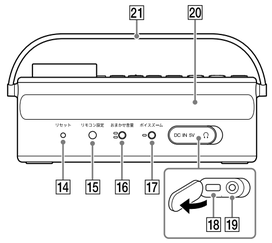
ヒント

調整方法がわからないときは、お使いのテレビメーカーに「ヘッドホン音量の調整方法」をお問い合わせください。

各部のなまえ

お手元スピーカー



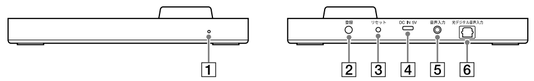


1 スピーカー電源ボタン／音量つまみ
2 充電ランプ
リモコン操作ボタン
3 数字ボタン
4 放送切換(地デジ、BS/CS)ボタン
5 チャンネル＋/－ボタン
6 テレビ音量＋/－ボタン
7 テレビ電源ボタン
8 消音ボタン
9 入力切換ボタン
10 CATV電源ボタン
11 10キーボタン
12 スピーカー電源ランプ
13 環境音検出用マイク
14 リセットボタン
15 リモコン設定ボタン
16 おまかせ音量ボタン・ランプ
17 ボイスズームボタン・ランプ
18 DC IN端子
19 🎧(ヘッドホン)端子
20 赤外線発光部
21 ハンドル

ヒント

リモコンのチャンネル＋ボタン、数字ボタンの5には、凸点がついています。
操作の目印としてお使いください。

送信機



1 送信／スタンバイランプ
2 登録ボタン
3 リセットボタン
4 DC IN端子
5 音声入力端子
6 光デジタル音声入力端子

送信／スタンバイランプについて

- 点灯(緑色)：スピーカーに音声を送信中です。
- 点灯(赤色)：スピーカーに音声を送信していません(スタンバイ)。
- 消灯：電源が入っていません。

便利な機能

イヤホン／ヘッドホン(別売)で聞く

19 🎧(ヘッドホン)端子にイヤホン／ヘッドホン(別売)をつなぎます。

人の声をはっきり聞く(ボイスズーム)

17 ボイスズームボタンを押すと、ニュースのナレーションやドラマの台詞など人の声をはっきりと聞くことができます。

周囲の音に合わせて、音量を自動調節する(おまかせ音量)

16 おまかせ音量ボタンを押すと、まわりの環境音(掃除機の音など)に応じて自動で音量が調整されます。ボタンを押すたびに、機能の弱・強・オフが切り換わります。

おまかせ音量ランプについて
1つ点灯：弱、2つ点灯：強、消灯：オフ

お手元スピーカーをACアダプター（別売）で使う

18 DC IN端子にUSB ACアダプター AC-UD20（別売、2015年7月現在)をつなぐと、お手元スピーカーを充電しながら使うことができます。

主な仕様

お手元スピーカー

型式	アンプ内蔵スピーカーシステム
実用最大出力	2 W ＋ 2 W*1（ACアダプター使用時） 1.3 W ＋ 1.3 W*1（充電池使用時） 4 Ω
スピーカーユニット	φ35 mm ×2
出力端子	ステレオミニジャック
リモコン動作距離	約7 m*2（正面距離）
電源入力	USBマイクロタイプB DC 5 V
電源	リチウムイオン充電池
連続使用時間	約16時間*1（JEITA規格による）
充電池充電時間	約3時間*1
使用温度範囲	0 ℃ ～ 40 ℃
最大外形寸法	約196 mm × 74 mm × 77 mm（幅×高さ×奥行き）(JEITA)
質量	約440 g

送信機

変調方式	その他の方式
送信周波数帯	2.4 GHz帯
到達距離	約30 m（直進見通し）
入力端子	ステレオミニジャック ×1、 光デジタル音声入力端子(角型)(fs=48 KHzのPCMに限る) ×1
電源	DC 5 V（付属のACアダプターを使用）
最大外形寸法	約179 mm × 28 mm × 71 mm（幅×高さ×奥行き）(JEITA)
質量	約85 g

*1 使用状態により異なります。
*2 使用機器のメーカー・機種によっては距離が変わる場合があります。

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

機銘板は、本機の底面に表示してあります。

ACアダプターのモデル名とシリアルナンバーはACアダプターに表示されています。

本機を廃棄する

⚠注意 **日本国内での充電式電池の廃棄について**

Li-ion

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 本書には、保証書が印刷されています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口(下記)にご相談ください。修理をご依頼の際は、付属のACアダプター、お手元スピーカー、送信機の3点を一緒にお持ちください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。 詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルオーディオシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

モデル名：SRS-LSR100

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口
フリーダイヤル…… 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話…050-3754-9577

修理相談窓口
フリーダイヤル…… 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話…050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に **「309」+「#」** を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

保証書

持込修理

品名	パーソナルオーディオシステム
型名	SRS-LSR100
お買上げ日	平成・西暦　年　月　日

本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

ソニー特約店

お問合せ先：修理相談窓口
フリーダイヤル：**0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、050-3754-9599
ホームページ：**http://www.sony.jp/support/**
ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から　1年
お客様住所 お名前	電話　-　- 様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理、持込修理、引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼ください(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。
※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別については出張修理・引取修理を、引取修理の種別については出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。
3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。
(1)本書のご提示がない場合(2)本書にお買上げ日およびソニー特約店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合(4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷(5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷(6)お買上げ後の移設、輸送、落下などによる故障・損傷(7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧などによる故障・損傷(8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換
4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。
6. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ	

※本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。

T02-4